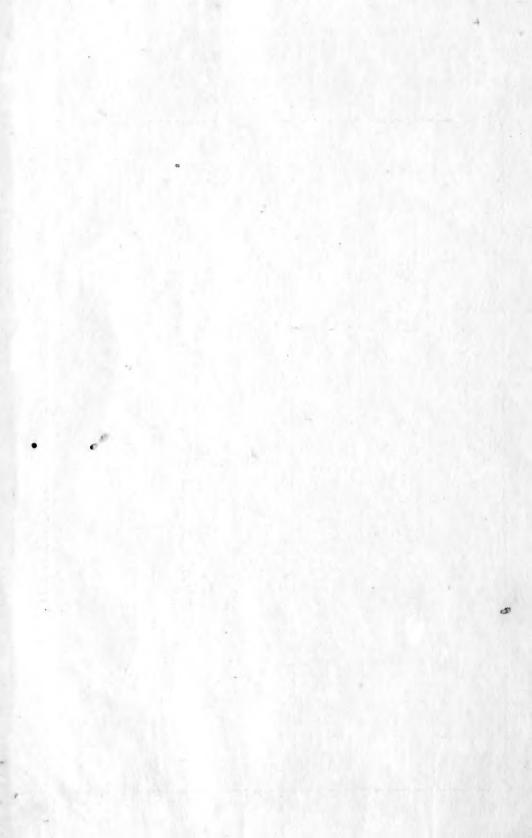
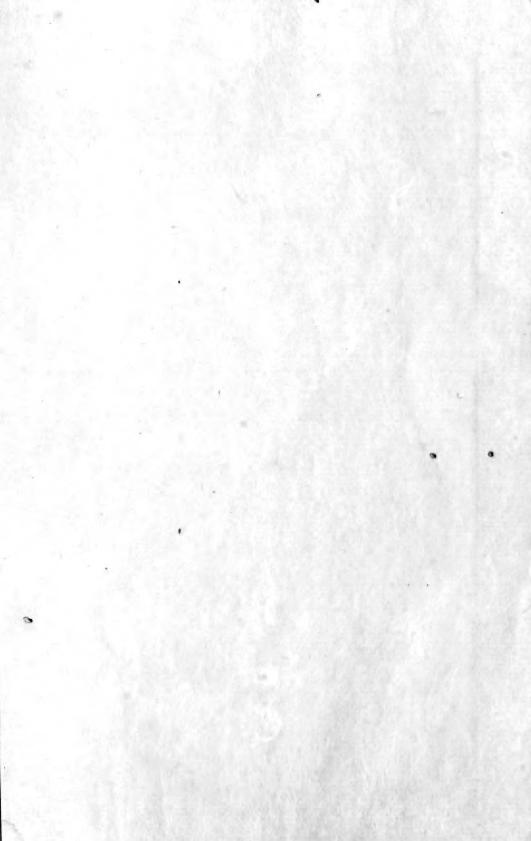
漢具譜







時ヲ得テサンデノ張ノ上国重かモイイヤナク 海士人ノヌル、タモと二拾フか笹りも分テ名コソタガリ子 妹か多由良くとサキノ輝かラログフション人にラへり 蒂木 空學 桐黄 源氏分两歌 馬里,今 笹ノ露

/sa						
紅生子智当的	思ピクルヤントモナラデ紅介ノ末公花二袖デソメケン	和福花 紅 介	浪ョスル竹んとつり、在今ウレンキ世ミアイニケルカナ	岩紫	海ナノタク浦ノ煙ニス、ケチバタ顔かト云シアルラム	夕顔少願分

WOT AND THE MAN TO THE

思ヒアンが向フ鏡ノカイナクテウで次ろっまといつりと 風ヨル何ナラナク三扇かマチカ子与心流磁ノシマ 神山ノ州ノ名ニタン海原ノ誰ニアライノダインカラン 常盤木ノ枝ノ濱九萬今ラ磯ニハイクル名コソアりちり 花,宣安 笑! 扇命 鏡。介

住吉し松や音し友ナラ台洋ノ佐ニナアマタョルナリ 聞人も夜サムノ枕風アラク磁邊子島するすりち 岩井嶋イホウカイアル王椿君が人代数モロハム 花散里 廖察 頂广 明石 王春 炬 結期 千鳥介

机かマタ石マデニイタラチドイツカ王清テハナレヤハセン アヤンクモネノグラシキ板屋かだっり海で、智とナラスヤ 春トシナ震とウラワノ場動コキ行舟ノアマタコルナり 浦人名ノカタくがりりか。ラマタアフマディチャリナルラン 举生, 极屋介 机介

海主人フラクル月日イカイアリテ浦賑シキナニハエノサト 神人世ワえんかり構枕友マツ風ノラトハカリシテ 時ラマクヌアダールだく名ラカコフモなす朝顔ハナ 朝颜 夢雲 松河風 松風介 し女介 朝顏介 月日介

春風可不清人胡蝶かつかイン丁浪人間二人 來テ見が夜年ノ高波声少きより不過ノ郭公分 ワタフラノラグカサンモケフグ見に野路かりエノカズ・ 海古い舟カチ取ナラショギョセテレケノ次のイブナカラン 初二百 胡蝶, 王道 野路か 郭公分

ハゲンクモ天津沙風吹カラーナキサノ介ノ数ヤにロハム 海原ノ浪間カキワケ拾アトテフテ大教見神ンチリフ 包ともりそくに渡く神ラくこれりボノンクホタルかりけ 常生交 野分 新 火 必ずな 沙吹今 汐折介 螢分

同し野人家路二分と旅谷アワンからョカコトハカリモ 神遊とろなかニラトンテモウラカインモトルクルマか カック海士出ティキックタマニラでシ政名ヤヨフスラン 今が知古されカシノ直大柱宝かラママブロフラン 御幸 藤袴 真木柱 藤夸介 實介

フジカタニョルと示くらいかライクシホ酸ノソメカヘシケン 張いいクタリニッキテナニ、かって一方格いってフカウガイ 海原ノ海ナノサイズリ來子見いとろうきュブルラレ 毛·荣 着 菜 梅拉枝 藤夷葉 為力 紫介 無分 カイキか

落葉か神らもとテモテュカン秋く紅葉とでるラン さいラル、生テカイナシカナラスク言る世界を三もカワス世ナレバ 稀ニアフタガフタり寝して海中りなると鳥ノ羽子か 沙風までももして後上と生生ソフ海生ノ智くをう 横雪笛 柏木 落葉介 羽流介

舟上に強く很られかりりてアル夢ニアワサラメヤハ 聖海人衣庙一行者分マタクと身海強 御佛と交ニランフターシアン・生かりアン・カリラグ見ル 御法 白雪宫 幻水 タラ歌 袖流 行者介 震"

流江海土一管家今した小莲今夜一秋風 テカタナル十色ノ海ノ製、二王ノアリカハイカラツキセン アフラスマタガ神介ノカタで上テカトりん海ノ浦メッラナル 海ナーティーマヤアラム自動ノウンモンンテン浦ノ雪か 紅海梅 橋姬 雪分 小進介 千色介

春風ニョセクル浪トモロトモニワラス確間一野地ノ早蔵 強ナレン里ノアケマキイザナイテトかマシリノ数ラ拾ハン 栗川行名のニラル複頭朝三暮四台ララモホエ 角絲 寄木 早炭炭 推本 早蕨介 **袁**頭介 演教介 角総介

イモトアンドニ設テノアサケノ屋形のナミダ王ノアワセテグ見ル 千早根神代人和歌神浪ラワセティスル夷介サ 演椒、沙テニラクル名よりよりとしてりてるとくつ子ナル 沙テカタとす真砂雨晴テタマり水云すブ秋ッツ 浮节和文 時深 跨 東屋 屋形介 夷分 蜡蛉介

カルカマノ名コソ似タルカシトロかクサカノ浦ニ立てシウマ 海ナノナスガマナビノれか文字ノ関路ラフでと見かけ 源氏五十四種終 夢浮橋 丰習 歌仙分所歌 シトロか

支水集 右二 と了演儀はス限人にかリスレスとスルフッか子生 春風三浪や折かとこうナノクノマガキガ鳴ノ梅ノ花介 浪りし吹上ノ海ノ海の風モグラロスインキヒロハム 夫木集 山家集 新移拾遺集 左一 忘今 花分 藻分 梅花介 順德院 俊頼 西行

枝ナカラサカマク浸ノ折子、ヤチリーヨスル十代人花分 ムラサキノかヨル浦ノ藤カタハ没ノりのが花上見くより シャムルマスホノ小の拾了上す色と演上ハスニヤアルラン 支末集 右三 建保百首左三 支木集 左四 伊势人海浪人王記櫻介力了了九神人春人色力大 真繐介 紫介 定家

ナニワノガ浪間柏ラトルホト一日モ暮神三月グヤドレル 名寄 夫木集 左五 いしてとう愛く白かりまけてい雪カトン見ル 子汐とは無子かことう色ハヤマト唐ニモアランシック 中ラフトショ 左六 右五 右四 浪間柏 撫子介 定家 西行

名所記 右七 色しくかアリテュッ格がんチクサノ海上一間こし コキマセニ色ヲ盡テヨルかい錦ノ神上見ユルナりケり 舟上へん残と退路ノマクラかりてアルックアンザラメヤハ 契りラキンをがずノ秋フとてある。現かりそもちりち 右六 三條院衙製 大江廣重

田をサワグなりモトな、ラカキケア神でテラ格にいカナ トモスレバ戀シキ方ノ名ニア心都介ラグマブたとヌル 夫木集 山伏ノホラ吹きイク賞をニソコトモケラスス、ノウワ風 右九 左ハ 宝螺介 榮螺 神空か 寂蓮

アヤシクモ神グブランキ板屋か皆フク海が習せラズヤ 新六帖 左十一 浪ョスルかイマリノをかウンシャ世ミアイニケルカナ サクスム瀬ウノをいボモトメ出てインを海でをきたりナ 資子島でくラクアトノンナリナガイアル浦ラザラヤハ 左十 千鳥分 在分分 板屋介 信實

ナゴ世の総路ニイカデウンシャンとかノラクガ思にラ 千首牡州花 左十二 續後程集 左十三 我袖インカテカタカタクアフテフューと浪ニシホレテ アコマトレーかりカララ積ぎまティエノアトラ見スルナりケリ 石芝明介 空瀬分 カタンか後花園院御製 阿古屋介 西行

伊勢海海沙か拾フテラアマリー袖タングカワカス 伊勢ノ浦ノジテニアサリモトノラルカイランをうりうなったっと では人様ですすっかり身かタッラーナリハテヌハタ 浪らつ三嶋浦ノ空瀬からもちって我ヤナルラム 右十四 左十四 右十三 10/00 斯介 身ナンか 高屋院入道三品親王 先俊 師兼

タモシナ物洗からするず法」連らウラスかり タとうんなギサイトアのかアハメニッケアリラグシラムル 海道記 右十五 海原で浪三元、かからくえ國ーナルカショサ 右十六 左十五 左十六、 满介 片津今 物洗介 津子久國 長明

千首 伊特と海キョキ清三駒トイナ都ノウトニ小からロハン 江ノ淀ニミグか拾フウナイコかるとニダートフ人モナシ 視トルカタノ海ノ海土人ヨラマカニ云バカイグアルへキ 今が知じ見り神り始りか合セトグ思フナリケリ 右十七 左十八 左十七 1000 現り 源师光 西行 爲尹

夫未集 野かくま方とちくが松くキシウン浪ノと、キナリケリ コ美丁、近日 石がけろりとト見スル長海ノ千種ノ介ノ数モッキセン 歌仙三十六種終 右十八 新撰六歌仙內歌 くと 千種分

夫木作 山家集右二 夫木集 浪アラスを浦ノ神かラッテニ風ノタ、ミラクカナ おヨスルシルケアリテヨザノ海ノ梅と浦ニコロモへヌベシ 浪ョスルン・ラノ濱ノカラスか拾しヤスクモ思ホエルカナ 同 左三 1000 鳥 ミルか 西行 同

コグ人モナギサニョスル舟かつ吹クル風ヤフナグナルラム 水子ノエラジに残かく下戀とグトレハへニット 夫木集 右三 新歌仙 松山忘今 介的神子 海士介

螢海 海神 路村 馬力 鹿"子 西节 破 省 . 社 7 10 0 n 分 分 出力 蛇疵 淡菜 亭 鳥 シタ、ころり 居虫 かくかに 分 王约

王笠原 当り 續 歌仙 は交衣分 演教分 蠣 王分雪是一王 かり東金等浪花 花 些" 一名メクハジヤ 一名木枕

通過 浪 經 からるをきかけれ ーるツベタ 空沙 一百日 瓏 瑶》 分别人 唐家 綾 水沙草 台浪 筆が 生 衣介压 白ノ俯

和漢貝			沙電命	演教介
和漢貝譜卷之十終			分差棒サ、レケ	横笛分
	* *		编 ;	
			からいり長年り	玉櫛介

•







